

かしま

ほっと HOT ほっと hot 通信

5月号 Vol.292

平成29年(2017年)5月1日発行

■編集/かしま病院広報委員会
 ■発行/社団医療法人養生会
 〒971-8143
 福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
 tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ホームページ <http://www.kashima.jp>

携帯サイト <http://www.kashima.jp/m/>



かしま病院

検索

インターネット閲覧機能搭載の携帯電話から、クリニックかしまの診療科情報をご覧ください。

ご意見・ご感想は...
 上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
 かしま病院広報委員会(井沢 宛)まで
k-izawa@kashima.jp

巻頭特集

1 『日本脳炎』
 蚊が媒介するとても身近で危険な感染症です!

2 新任医師のご紹介
 かしま女子的ちょっと井戸端会議

3 乳がん一口メモ 92
 『かしま乳腺疾患チームの紹介』
 かしま乳腺疾患チーム

4 コラム ひんがら目(119)
 『躰が大切か 躰け方が大切か』
 呼吸器科 部長 山根 喜男

ようこそ家庭医療へ!
 リハビリPOST
 イベント開催予定のお知らせ
 かしま荘通信



社団医療法人養生会の入職式が、4月1日(土)に執り行われ、21名の新人が養生会の仲間に加わりました。

巻頭特集

日本脳炎

蚊が媒介するとても身近で危険な感染症です!



日本脳炎ウイルスを持った蚊に刺されても、全ての人が発症するわけではありません。ウイルスを持った蚊に刺された感染者100人中、1000人に対して、発症するのは1人です。しかし、一旦発症すると、



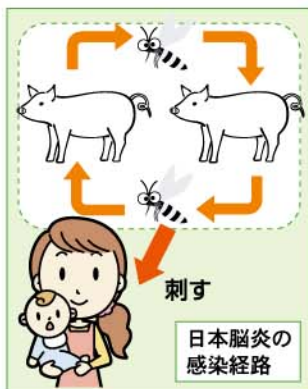
日本脳炎とは
 日本脳炎は、蚊が媒介する感染症です。2016年7月号で紹介したように、蚊は、日本脳炎の他にもウエストナイル熱、ジカ熱、チクングニア熱、デング熱、黄熱、マラリアなど、沢山の感染症を媒介します。日本脳炎は、「日本」と名前が付いていますが、日本固有の風土病ではありません。1935年に日本で初めて人の脳からウイルスが分離されたことから、その名が付けられました。全世界で毎年3〜5万人が発症し、1〜2万人が死亡しています。

わき市も、桜の開花と共に一気に暖かくなりまし
 た。冬の間は身を潜めていた虫たちも、春の陽気
 に誘われるように辺りを飛び交い始め、厄介者の蚊も
 活動を開始する季節がやって来ました。

2に続く
 東京都が学童の日本脳炎抗体保有率を調査したところ、ワクチン未接種の学童の内、小学校1年生では30%に、高校1年生では65%に抗体が確認されました。知らない間に

厚生労働省では、日本脳炎の感染の危険性を把握するために、豚の抗体保有状況の全国調査をしています。これによると、北海道から沖縄まで、殆ど全国に宿主となった豚がいます。日本のどこにいても、感染する危険があることが分かります。

感染の危険が高い地域



日本脳炎ウイルスの宿主は、主に豚ですが、近縁の猪も宿主になります。宿主の豚を刺した蚊が人を刺し、刺された人が感染します。日本では、主にコガタアカイエカが媒介しています。日本脳炎は、人から人への直接感染も、人が宿主になることもありません。

日本脳炎の感染経路

死亡率は20〜40%と高く、生存者の45〜70%に重い後遺症が残る怖い感染症です。